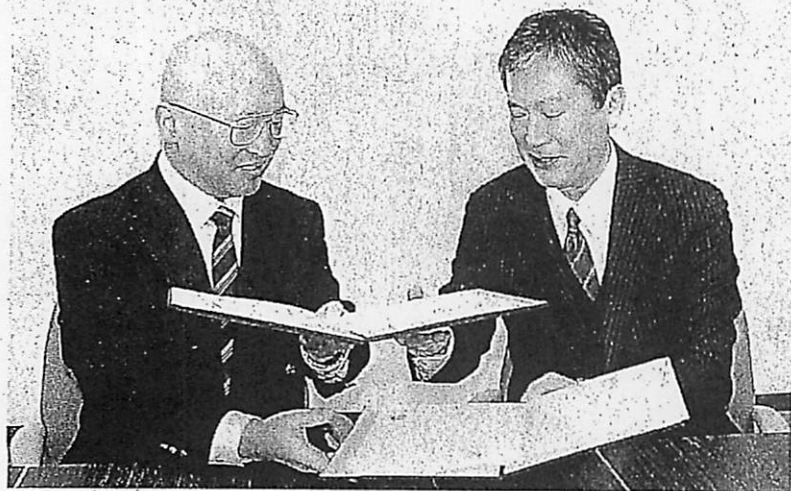


龍大と洛陽工提携

理工学部
教員派遣や研究協力



協定書を交わす大柳学部長(左)と恩田校長
(大津市・龍谷大瀬田学舎)

龍谷大理工学部(大津市)と洛陽工業高(京都市南区)は12日、高大連携に関する協定を結んだ。研究室への高校生参加や大学教員の派遣などで協力的、基礎学力向上や幅広い人材育成を目指す。同学部は滋賀県内の3工業高校と協定を結んでおり、今回が4校目。同大学瀬田学舎で、大柳満之理工学部長と恩田徹洛陽工高校長らが出席して締結式を行った。

協定では、同高の特別講座「ハイパーステージ」で課題研究を行う際に大学の研究室の協力を得たり、高校へ大学教員を派遣したりすることを想定。連携協議会を開いて授業内容を検討し、同大学が高校生向けにつくる補習教材も利用して、基礎学力向上を図る。同学部への推薦入学枠も設ける予定。

恩田校長は「地域の担い手だけでなくグローバルな人材育成を目指す。連携で生徒の志を形成し、キャリアにつながる学力をつけた」と話している。

(小西貴久)